

# 研究成果報告会

## 研究・社会連携推進ラボラトリー 2026

2026

6/19 (金) 15:00▶17:00

参加費無料

14:30より受付

入退場自由

### プログラム

## 1 Short Presentation

[15:00~16:00]

研究・社会連携推進ラボラトリー所属ラボの研究取組状況と、学内共同研究奨励金採択課題の研究成果について、要点をわかりやすくお伝えします。

## 2 Poster Session

[16:00~17:00]

ショートプレゼンでは伝えきれない内容をポスター展示でじっくり解説いたします。

会場

### 大同大学A棟14階

(名古屋市南区滝春町10-3)

- ・名鉄常滑・河和線準急「大同町」駅下車徒歩約5分
- ・駐車場利用可（授業実施日のため、満車の際はご容赦願います。）

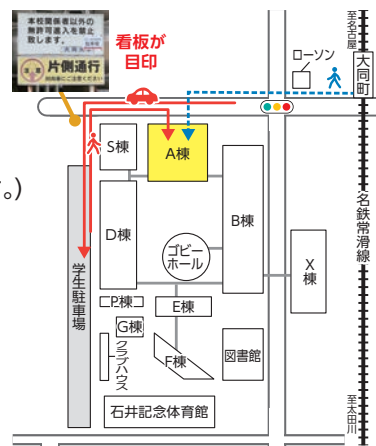
参加申し込み

以下 URL よりご登録をお願いします。

<https://forms.gle/8aM1wR9asBYVQXz16>

6/12(金)締切

- 注1) 参加者1名につき1件ずつ申し込みをお願いします。
- 注2) セキュリティの都合で申込サイトへのアクセスが制限される場合は、E-mailにてお問い合わせください。



### ■お問い合わせ

大同大学研究・社会連携推進室

TEL

052-612-6132

E-mail

crrc@daido-it.ac.jp

主催

大同大学研究・社会連携推進センター

後援

OKB 大垣共立銀行



## 産学共同研究ラボトリー

- ◆ **モータ研究センター** [研究代表者：電気電子工学科 教授 加納 善明]  
小型・高効率のニーズに応える新しいコンセプトの磁石・軟磁性材料を適用したモータの試験結果を報告する。
- ◆ **新世代製造技術開発研究ラボトリー** [研究代表者：機械工学科 准教授 萩野 将広]  
本研究では高圧クーラントの効果を最大化できる切削条件を見出すため様々な基礎実験を行い、最適なノズル形状の検討を行った。
- ◆ **人・ロボット協調デザイン研究ラボトリー** [研究代表者：機械システム工学科 教授 吹田 和嗣]  
人が中心のロボット利活用社会をより広く展開するために、安全・安心でウエルビーイングに配慮した人とロボットが働く場の環境を整え、より使いやすいロボットアプリケーションの実現を目指した取り組みを報告する。
- ◆ **におい・かおり研究センター** [研究代表者：かおりデザイン専攻 教授 光田 恵]  
生活環境の「におい・かおり」を対象とし、人の感覚を重視した研究を推進し、においの特性把握、測定・評価手法、臭気対策、香りの活用等に取り組んでいる。  
におい・かおり研究センターは毎年2月に「におい研究交流会」を開催して研究成果報告を行っているため、今回の報告会では Short Presentation は実施せず、Poster Session のみに参加します。

## 社会連携ラボトリー

- ◆ **AQPR ラボトリー** [研究代表者：情報デザイン学科 教授 上岡 和弘]  
AQPR Lab. は愛知ブランド企業を対象とした広報課題研究制作活動であり、2026年度完成を目指した中間報告を行う。
- ◆ **コミュニティ防災ラボトリー** [研究代表者：都市空間インフラ専攻 教授 鷺見 哲也]  
大規模災害に備え、大学と地域が手を取り、共助で生き抜く地域を目指す。
- ◆ **生産加工ラボトリー** [研究代表者：機械工学科 教授 坪井 涼]  
継続的に会員企業と本学が連携し、講演会・工場見学・講習会で交流と人材育成、課題解決を図り高度化へ推進する。

## 基礎・応用研究ラボトリー

- ◆ **ブラックホールに特徴的な観測の理論整備とその近い将来の観測可能性の追求／科学研究費基盤研究(C)〈課題番号：25K07328〉** [教養部物理学教室 教授 齋田 浩見]  
銀河系中心巨大ブラックホール近傍の観測データから宇宙と重力の基礎法則の解明に迫る試行錯誤の途中経過を報告する。

## 学内共同研究奨励金採択課題

- ◆ **EV(電気自動車)のパワーエレクトロニクスシステムのEMC(電磁ノイズ)評価・対策技術** [研究代表者：電気電子工学科 教授 服部 佳晋]  
電気自動車のパワーエレクトロニクスシステムの電磁ノイズ評価ベンチを立ち上げ、ノイズの挙動を解析
- ◆ **地域コミュニティ活性化に関する学際的研究：名南地域の防災まちづくりにむけて**  
[研究代表者：都市空間インフラ専攻 教授 鷺見 哲也]
- ◆ **摺動面で発生するにおいを用いた焼付き制御** [研究代表者：機械工学科 教授 坪井 涼]  
においを用いた焼付き予兆に向け、数値解析を中心に機構解明と制御指標化を進め、摺動試験条件を整備